

神奈川 山梨教会連合会報

かりん

年頭あいさつ

教師・信徒一体となった

布教活動を願う

連合会会長 須賀院 明 徳



新年あけまして

おめでとう

ございます。

昨年の重大ニ

ユースの中にも

「いじめ」「虐待

」などがあり、毎

年のように暗いニュースがあとを絶ちませ
 ん。それぞれの事件には、いろいろの背景
 から生まれるさまざまな要因があると思
 いますが、総じて「人のことを思いやる気
 持ちが薄れてきている」ことがあげられる
 と思います。

今から百四十八年前、天地金乃神さまは
 人間の助かりを切実に願われて、生神金光
 大神さまに、「世間になんぼうも難儀な氏
 子あり取次助けてくれ」と頼まれました。
 そして教祖さまは、今まで従事しておられ

た農業を息子さんに譲られ、取次に専念な
 されました。

その御縁を頂いている私たち一人ひとり
 は大変幸せなことと思います。お取次を頂
 くことにより、生かされて生きる喜びを再
 認識され、悩み苦しまれる方々のことを真
 剣に祈らせて頂きたいと願うところです。
 しかし、今日そこが果たして出来ているか
 と考えると、そうとも言えないと感じるの
 であります。

そこで、連合会では、教会の垣根を越え、
 定期的に腹を割って話し合える場を持つこ
 とにより、教師と信徒、それぞれが立場は
 違えども、互いに手を携えあって、いろい
 ろな分野で積極的に活動出来るようにして
 いきたいと願って、「金光教の活性化を求
 めて」をテーマにして参りました。

その願いをもって、今年六月十六日、福
 岡高宮教会吉川信雄先生をお招きして、信
 心追体験を拝聴し、実のある研修会を開催
 させて頂きたいと、企画しております。

また、今年には御本部において、八月四日
 ・五日に第六十回少年少女全国大会が開催
 されようとしております。教会・世代を超
 えて大会に参加させて頂き、お互いの交流
 の場を持たせて頂きたいことも計画してお
 ります。一人でも多くの方のご参加をお願
 い致します。

また、「金光教神奈川 山梨教会連合会こ

こにあり」と世に知らせて参るために、ホ
 ームページも開設させて頂きたいと願って
 おります。

それぞれの部で計画していることに、各
 教会のみなさんの御理解と御協力が無けれ
 ば、活性化出来ません。

どうぞ、本年もよろしくお願い致します。



金光教関東教区信徒会 14th首都圏『女性の集い』

明日に向けて信心の展開を

首都圏布教120年・立教150年を前に

日時 平成19年2月12日(祝)

午後1時～4時30分

受付 午後12時30分より

会場 金光教館「イーストホール」

千代田区神田和泉町1番地

(金光教東京教会内)

講師 河井武子 先生

(金光教中野教会長)

参加費 五〇〇円(当日徴収)

班別懇談・くつろぎタイム

申込先 各教会まで

チラシが教会にお届けして

あります。大勢の参加を!!

男性の方の参加も歓迎して

おります。

「連合会活動について思うところを述べよ」という難問を頂いた。私は金光教国際センターの御用を頂いている関係で、連合会活動には不義理を重ね、諸兄諸姉にお目こぼし頂いている身である。何を書いても口幅ったい思いがするのであるが、お許し頂きたい。

同じ地域の教会が集まっている連合会は、一教会ではできないことを実施しつつ、その地域らしい金光教を生み出していくことがその役割だと思ふ。その意味では、今日まで取り組んで頂いている各種研修会、公開講演会の実施、レクリエーションの開催、I.T布教の研究など、誠にふさわしい活動をしてきて下さっていると、関係者には常に感謝に堪えない思いである。

そうとして、蛇足のような私の願いである。それは、連合会は常に信奉者がこの道のおかげ、この道に生きる喜びを分かち合う場であってほしいということである。

かつて、お道のお広前は、神様を礼拝する場であり、お取次を頂く場であると同時に、信者がへ頂いたおかげを分かち合う場であった。前の参拝から今日までどんなおかげを頂いたかを競い合って話し、「負けちゃいけない」とばかりに信心にますます打ち込んで、神様の働きを感じる

喜びを土台にした 連合会活動を

二 信 田 山 西 教 会 横 濱

アンテナは研ぎ澄まされ、神様に向かう力も強くなった。そして、この道に生きる喜びが、世の難儀な人を救い助ける原動力になっていたのである。

さて、今わが身、わが教会を振り返ってみれば、どれだけこの「喜び」が語り合えているだろうか。忸怩たる思いである。

ところで、北米大陸に金光教のお広前が13、南米ブラジルには6つである。連合会的な活動が行われているが、あの広大な大陸での活動の不自由さ、各教会の孤独感は、想像に難しくないであろう。また、ヨーロッパには教会がない。イギリスとドイツでは、国際センターが集会を開催している。集会には、楽しみにしている信者さんたちが友達を連れて参加する。他に信心の話ができる場がないのである。

神奈川山梨教会連合会には、22もの教会があり、信心の仲間が大勢いる。なんと恵まれた環境ではないか。このことをまず喜んでいきたい。仲間がいることの力強さを喜び合いたい。そしてその仲間で、この道に生きる喜びを語り合うことが、連合会の土台であり続けていかねばならないと思う。「喜び」を土台にしたものはたやすく壊れない。「義理」や「使命」は折れやすい。今、改めて連合会を構成する私達が、受けているおかげの自覚を強くさせていただく時だと思っている。

人間力を取り戻そう

神奈川教会 大塚 東子

年を取ってくると、いろいろな力が衰えてきます。細かいものが見えにくくなり、耳が遠くなり、匂いに対しても鈍感になり、さらに筋力も衰えて、走ることに、泳ぐことに、歩くことなど運動能力も退化してゆきます。年を取るといふことは、そういうことなのです。

ところが、年を取らなくても衰えることがあるのです。病気のせい？ いいえ、若く健康な方でも衰えるのです。文明は人間が本来持っていた力を衰えさせる、ということ。砂漠に住む人は、百メートル下の地下水の音を聞き分けて、水を掘り当てて、今も狩りを主体にして暮らしているアフリカの人たちは、百メートル先の小さな獲物を見分けて、矢で射ることができ、陽が落ちて、すっかり暮れてしまっても、陽が落ちて、すっきり暮れてしまっても、飛ぶ鳥を射落すことができます、と言います。

農耕民族だった日本人には、そこまで驚異的な力はなかったでしょうが、それでも、昔の人たちは、星明かりの下でもものを見分け、風の音や雲の色・形で天気を予報し、海の色で魚群の位置を知り、太陽や気温の具合で、穀物の出来具合を予測しました。そういう力を持っていたのです。

子どもたちが献饌行事

昨秋の御大祭で、いつも行っている献饌行事の最後に、子どもたちにもお供えの行事に加わってもらおうという試みをさせて頂きました。

五歳〜八歳の子どもたち二人ずつの組でいたしました。

小さめの白い覆面を付け、神様の御用だからと言われ、お盆の上にお菓子に乗せたお三方を乗せ、それを二人で大事そうにしつかりと持ち、神妙に、しずしずと進む姿に、その場にいた一同は感動を覚えました。子ども心に、これは大切なことをしているのだと感じている様子がよく解りました。



なかなか家族への信心継承が難しい今、この行事を通して、大人たちの神様に向かっていく心を、少しでも子どもたちに感じて貰えればと願っています。

どの様な方法でも良い、子どもたちに教会に親しんで貰えるか。教会と信徒で知恵を寄せ合って、継承問題に取り組んで行きたいものです。

(鶴見教会 桜井 君江)

この度、体調を崩し、静養の為に「かりん」編集長のお役を退任させて頂くことになった。

昭和48年教祖90年祭のお年柄、神奈川県東部教会連合会では「教会の体質改善」に取り組んでおり、私は、講演集会の事務局の命を受けた。その折りに教会への情報紙なるものを提供しようと思ひ、和文タイプを購入してコツコツと打ち始め、その後、

出 思 かな や さ さ

雄 光 山 長 集 編 かりん 前
横 山 光 雄

昭和51年「青年信奉者連絡会議」が誕生し、「しがらみ」通信が発行されるようになり、数年後に、「神東だより」や「情報版」として名称を変えながら、時代もタイプライターからワープロに変わり、様々な情報を流し続けてきた。昭和63年、首都圏布教百年「かながわ」が開催された。平成元年東西が合併され、

「県連だより」として名称を変え、パソコンを打ち始め、平成14年より教会家庭若婦人や信徒部の婦人を中心に今日の「かりん」のスタイルが出来上がって来た。この間、34年間、教会に情報の提供、色々な角度からの信心の取り組みの紹介等々。私なりの素晴らしい経験であった。また一緒に携わって下さった多くの方へ、感謝の気持ちでいっぱいである。

今私たちのほとんどは、そういう力を持っていません。それどころか、冷暖房システムのおかげで、暑さ寒さに弱くなり、熱を加えてやわらかく調理したものを食べているせいで、顎や歯が弱くなり、エレベーターやエスカレーターのおかげで脚力も落ちました。文明の力は、私たちに限りない便利さをもたらし、快適な暮らしを約束してくれましたが、反面、人間が本来持っていた力を失わせてしまった、と言えます。

文明社会の便利さと引き換えに、見る、聞く、匂う、触れるなどの感覚が衰えていくのは、ある意味仕方がないとしても、ほかの人の痛みや苦しみを感ずる能力、ほかの人の暖かさを感じ、そういうものでどんどん失われていっているのではないかと。近頃頻発しているいじめや虐待事件には、当然いろいろな要因がありますが、これもまた遠因の一つか、と考えさせられます。

暑い時、寒い時、私たちは簡単に冷暖房のスイッチを入れますが、時には、しばらく耐えてみる、というのでも悪くない。特に若い人たちにはお勧めしたい。暑さ寒さに強くなれるだけでなく、耐久心が養われ、人間が本来持つ力を少しは取り戻せると思うのです。

神奈川県山梨教会連合会 親子のつどい 第60回金光教少年少女 全国大会に参加しよう

日程 2007年8月4日(土)～5日(日)

近年は、連合会内でも教会単独での参加が少ない状況です。この機会に是非、子ども達を全国大会に連れて行きましょう。

*宿泊・参加費など詳しいことは、未定です。
後日、教会宛にご案内を発送いたします。

神奈川県山梨教会連合会 女性のつどい 山梨で1泊2日の研修と 親睦で輪を広げよう

日程 2007年10月29日(月)～30日(火)

宿泊 民宿「けやき荘」

参加費 七千円程度を予定

今年度は山梨で開催させて頂き、神奈川県と山梨の交流を深めたいと思います。みんなで有意義で楽しい時間を共有して、リフレッシュしましょう。
詳しいことは、後日、教会宛にご案内を発送いたします。

神奈川県山梨教会連合会

教師信徒合同研修会

日程 2007年6月16日(土)～17日(日)

会場 川崎市民プラザを予定

講師 吉川信雄先生(福岡高宮教会)

昨年、一昨年の教師信徒懇談会を受け、今年度は他県より講師をお招きしてお話を伺い、これからの教会活動、連合会活動を生き生きと進めていくための方途を求めて参ります。
後日詳細について、教会宛にご案内を発送いたします。

川崎市民プラザは、宿泊も出来ます。

計 報

金光教野毛教会信徒飯田喜代次さんには九月二十九日七十六歳十ヶ月にてご帰幽になりました。

飯田さんは、連合会信徒部の幹事を長年にわたって務められました。

金光教藤沢教会長高橋喜一先生には十一月二十八日九十九歳九日にてご帰幽になりました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせ致します。

〈な・が・れ〉

『元氣を出して信心せよ』

子安教会 入 鹿 健 策

十一月二十三日の月例祭に読ませてもらった御理解の中にあつた、

「元氣を出して信心せよ。年をとったのを苦に病むことはない。年をとっても一人前にできるのは信心だけである。信心していると、年を重ねるほど身に徳がついて、神がかわいがってくださり、若い者が大事にしてくれるようになる。」という御理解に初めて出会った。

教祖の時代と今とは「老人」観に違いはあると思うが、「年をとっても一人前にできるのは信心だけである(以下略)」のご指摘はありがたいと思う。

自分も団塊世代で定年も間近、寿命は長くなっているが「老い」を生きる時間も長くなっているということだ。年を重ねるほど身に徳がつく、そんな信心のできることは、ありがたいことだと思ふ。

金光教神奈川県山梨教会連合会

発行者 須賀院 明德

編集責任者 村田 光治

川崎市中原区小杉御殿町二一八二

〒211-0068 金光教武蔵小杉教会内